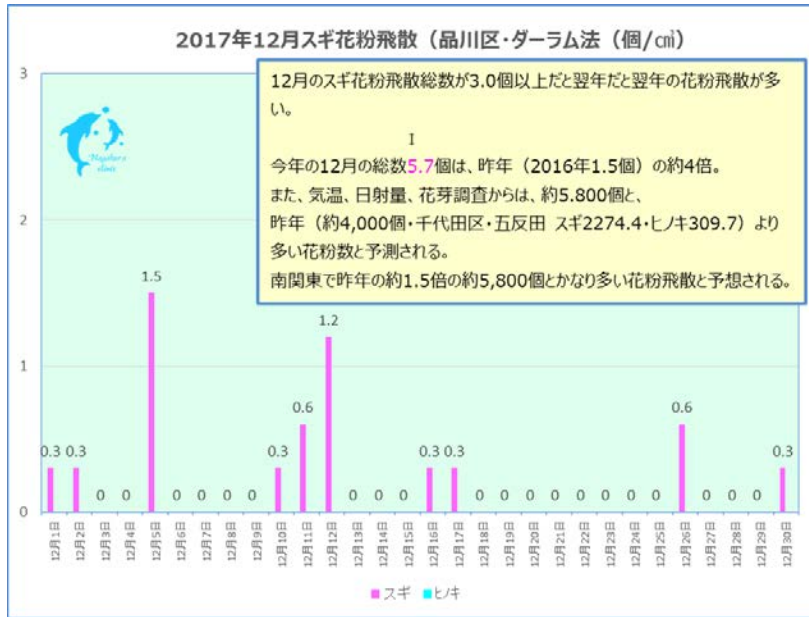


【2018年スギ・ヒノキ花粉飛散予測 (第2報)】 2018.1.5

『秋のスギ花粉飛散・花粉の着花量からの2018年のスギ花粉飛散予測』

2018年のスギ花粉飛散は、全国的に見ては、前年より多くなる見込みであり、東北南部から関東、東海にかけて花粉飛散量はかなり多くなると予想されます。

◆昨年12月にも、都内(品川区)でスギ花粉の飛散が昨年同様に確認されています。
この時期飛散するスギ花粉が多いと、翌年多くの花粉が飛散する傾向があります。



測定	スギ	ヒノキ	翌年のスギ花粉飛散数
平成15年	0.3	0	384.7
平成16年	8.3	0	10978.2
平成17年	1.5	0	1007.3
平成18年	0.3	0	1579.4
平成19年	1.5	0	3094.7
平成20年	1.8	0	4999.9
平成21年	0.9	0	1489.5
平成22年	3.0	0	9623.6
平成23年	0.9	0	1971.4
平成24年	2.4	0	6407.3
平成25年	1.5	0	1993.4
平成26年	3.0	0	2938.1
平成27年	2.4	0	4184.6
平成28年	1.5	0	2570.7
平成29年	5.7	0	?

毎年、秋には、スギ花粉をすでに花粉は成長し花粉が出来上がっているため、都内(品川区)でも、12月中に、5.7(個・ダーラム法)のスギ花粉の飛散が観測されています。

これまでのデータより、12月に飛散する花粉が3個を超えると、翌年多くの花粉が飛散する傾向があります。

昨年12月には、5.7個と多い花粉が測定されたことにより、現在スギ雄花の着花量が多いことにより、2017年は、都内において、昨年の約1.5~2.0倍の約5,800個の花粉が飛散する可能性が出てきました。

また、今後の気象条件は、昨年12月より暖冬傾向であり、年が明けても、やや気温が高い傾向が続き、その後、寒波が南下し寒くなると予想されています。長期予報では、「例年並み」か「例年並みよりやや高い」確率が70%となっており、2月には例年通りの気候になると分析されており、

飛散開始は例年平均(2月14日頃:都内)となると予想されています。

(END)